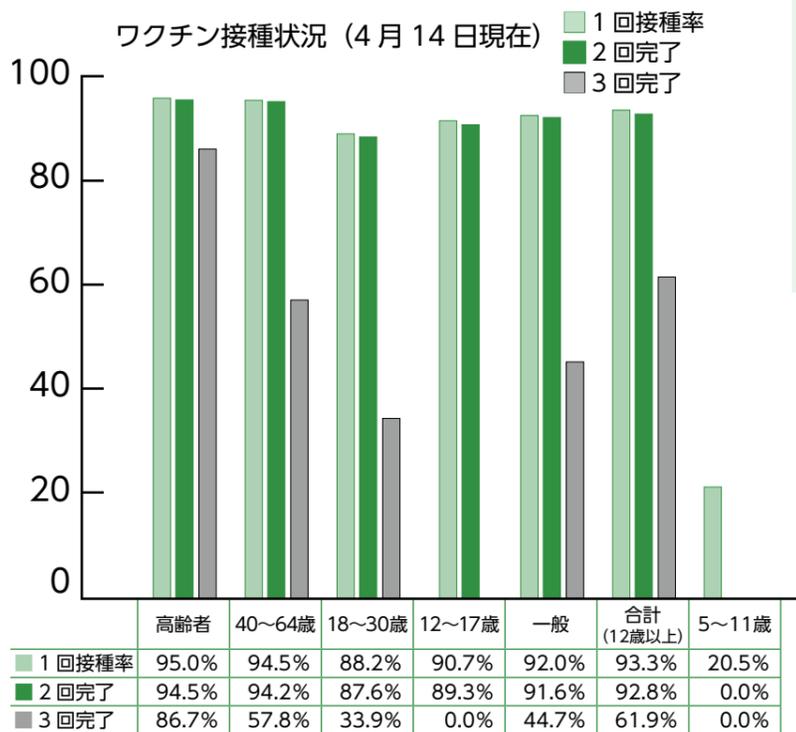


新型コロナウイルスワクチン接種情報

接種状況をお知らせします



**接種人数**  
**●対象者数 (12歳以上)**  
 対象者総数 32,349人 ※3月31日時点  
 総接種回数 80,223回 ※4月14日時点  
 接種1回目 30,172人 (93.3%)  
 接種2回目完了 30,014人 (92.8%)  
 接種3回目完了 20,037人 (61.9%)  
**●対象者数 (5~11歳)**  
 対象者総数 1,655人 ※3月31日時点  
 総接種回数 339回 ※4月14日時点  
 接種1回目 339人 (20.5%)  
 接種2回目完了 0人 (0.0%)



☑ 新型コロナウイルスワクチンの追加 (3回目) 接種

12~17歳の追加接種も始まりました。2回目接種完了月が昨年10月までの方へは接種券を発送しました。転入等で通知が届かない場合は、保健課にお問い合わせください。

※ 2回目接種を完了した日から6カ月未満の方は接種の対象となりませんのでご注意ください (2回目終了日から6カ月後の同日からの接種可能)。

☑ たむら市民病院でも武田 / モデルナ社ワクチンの接種が受けられます

これまで集団接種のみだった武田 / モデルナ社ワクチンの接種が5月からは、たむら市民病院でも受けられます。ファイザー社ワクチンの接種と並行して、5月13日から毎週金曜日は武田 / モデルナ社ワクチンの

接種日となります。

☑ これから5歳になられる方 (保護者) へ

誕生日の翌月に案内通知を送付します。内容をご確認いただき、接種を希望される方は予約をお願いします。

☑ 感染対策について

ワクチン接種の効果は100%ではなく、新たに感染する場合があります。引き続きマスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行「3つの密」の回避、こまめな換気など感染予防対策をお願いします。

● お問い合わせ先 (予約受付はできません)

田村市新型コロナ相談ダイヤル ☎81-2512  
 保健福祉部 保健課 ☎81-2271

新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止のお願い

大切な家族を守るため、家庭内においても可能な限りの感染対策を行いましょう。

- ・石けんを使いこまめに手を洗いましょう。
- ・定期的な換気をしましよう。
- ・大皿料理は避け、個々に盛り付けた料理を提供しましよう。
- ・コップ、タオルなどの共有は避けましよう。
- ・ドアノブや電気のスイッチなど、手を触れる共有部分はこまめに消毒しましよう。

- ・家庭内でも、必要に応じてマスクの着用、距離をとらましよう。
- ・日々の健康チェックを行い、体調が悪く感じたときは「かかりつけ医」または「受診相談センター」に相談しましよう。

受診相談センター ☎0120-567-747

☎ 新型コロナウイルス感染症対策本部事務局

☎81-2271

子どもの日



Anselm Wooden  
 アンセルム・ウデンさん  
 (アメリカ合衆国  
 インディアナ州出身)  
 田村市に来て3年目

アメリカには「子どもの日」がありません。日本と同じく5月の第2日曜日に「母の日」、6月の第3日曜日に「父の日」がありますが、「子どもの日」はないのです。アメリカの子どもはこの違いに気がつく、「どうしてアメリカには「子どもの日」がないの?」とよく親に尋ねます。頭の回転が速い親は、不公平を感じる子どもからの主張に「うーん、まあ、子どもはクリスマスにいつも一番多くプレゼントをもらえるから、クリスマスが「子どもの日」だと思えばいいんじゃないの?」と言ったりしてはぐらかします。しかし、親もクリスマスプレゼ

ントをもらいますから、この答えでは多くの子どもたちは納得しません。また、「えーと、自分の誕生日が「子どもの日」じゃないかな。」という答えは、親にも誕生日がありますからこれも効果てきめんの解答にはなりません。答えに困り「年をとれば、毎日が「子どもの日」だと分かる日が来るよ。」とフランストレーションが溜まって答える場合もあります。この答えは、プレゼントをもっと買って欲しい子供からのおねだりを親が防ごうとしていることを意味していますが、一般的に考えて当然のこととも言えるでしょう。

英語には、「The world revolves around children.」「世界は子どもたちを中心に展開している」という表現があって、日本語ではどのように受け取られるのか分かりませんが、人間社会は根本的に子どもたちのためにまず生産して、次に供給するように方向づけられていることを意味していると思います。私た



ちの生活の中で、子どもたちの存在を祝って感謝する日があることはすばらしい考えだと思います。私はまだ独身で子どもがいません。夫婦でも子どもを授からず悲しんでいる人もいます。それでも、自分の周りにいる子どもたちの存在に感謝することはできると思いますし、良いことだと思います。自分はまずアメリカにいる姪を思い出しますが、日本の生徒たちの子どもたちとも考えます。私は、田村市の子どもたちと関わることができてとても光栄です。

広告欄 Advertisement

有料広告募集中

問い合わせ…総務部 総務課 (☎0247-81-2117) へ